

事業所名 ※ グループホーム 桃の里

日付 平成 21 年 11 月 24 日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 高齢者福祉・医療における
実務経験3年以上

介護支援専門員
介護福祉士

自主評価結果を見る (評価内容と一緒に添付しています。)

評価項目の内容を見る ※

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!) ※

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

当施設は、のどかな田園風景の中にあり、周囲には四季折々の果物が豊作となっている。そんな環境の中にある散歩コースを利用者の方々と歩いていると、町内の人たちから取り立ての野菜や果物を御すそ分けして頂いたり、また、施設へ地域の子供が遊びに来てくれたりして、入居者と地域の人々が気軽に触れ合える、ほのぼのとした環境が揃っている。

職員の中には調理師免許所持者の方や、元食堂の経営者の方たちが常駐されているので、おやつ等は毎日違った手作りの物を作っていたり、本格的な食事やおやつが味わえ、入居者の方々も満足されているようでした。

職員はなるべく「施設色」を出さ無いような「家」(家庭的な施設)を目指しており、廊下や自室内の掲示にはなるべく必要な物以外は配置せず、スッキリとした空間の中で共同生活を楽しんでもらうように配慮していました。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

- ・グループ内施設と連携(交流)を取り、その施設ごとのよい所を取り入れたり、問題点や目標などの共有を図る事が出来れば、さらに良いと思います。
- ・管理者と職員との連携や意識の共有などを深める為に、コミュニケーションの場を設け、もう一歩踏み出した関係作りが出来ればと思います。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	個人個人の笑顔に向け、入居者のしたい事は多少のわがままでも傾聴し、施設ならではの良い所を活かしたグループホームを目指しています。残存機能を大切に、家事手伝いや洗濯たみ、洗い物等、自分で出来ることへの援助を行っています。また、散歩を毎日の日課としており、ADLの向上も目指しています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者の皆と一緒にいたい方、一人になりたい方など、その方のニーズによって椅子の配置や、居場所に気を使っている。また、皆で過ごす静かな時間とにぎやかな時間を分ける事で、生活の中にメリハリを付けるようにしている。		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	昔、田んぼや畑をやっていた方には畑仕事を手伝ってもらったり、水まきや草取りなどもお任せしています。また、歌で活動していた方には歌を披露して頂いたり、入居者本人が楽しめるように職員は心がけ、取り組んでいます。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組		○
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	職員全員のモチベーションを向上させるため、研修会や勉強会などを開催している。また、管理者は常にどうしたら向上できるかを考えており、前向きに努力している。		